

国東市歴史体験学習館

展示・体験で弥生時代に触れる「学びの拠点」

【入館料】・高校生以上 200円
・中学生以下 100円
【休館日】月曜、祝日の翌日、年末年始

常設展示室～安国寺集落遺跡の世界～



安国寺集落遺跡の出土品を多数展示。発掘された農耕具や土器などから、当時の暮らしを紹介しています。パネルや模型、映像など、多彩な説明資料で安国寺集落遺跡を深く理解できます。

屋外テラス 古代体験ゾーン



火おこし体験

常設の古代体験は、予約なしでいつでも体験可能です。弥生びとの気分になって、弥生時代の生活の知恵を学んでみましょう。

①火おこし体験 ▶材料費100円(約30分)

古代の着火法「舞いぎり法」で火おこし体験ができます。

②勾玉づくり体験 ▶材料費300円～(約60分)

やわらかい石で古代の装飾品「勾玉」を作ります。

③鋳造体験 ▶材料費500円～(約50分)

低い温度でも溶ける金属でお手軽に古代の鏡などを作ります。

扉を開ければ
そこは弥生時代

当時の建物を忠実に復元



高床住居(左)・高床倉庫(右)

U字型の溝に囲まれた湿地にたたずむ、高床式の住居と倉庫。湿気を避けるため、床を高くしています。住居は畳4枚ほどの広さで、倉庫は畳2.5枚ぐらいの広さです。倉庫は住居より床が高く、横壁がありません。

安国寺集落遺跡では、国内で初めてほぼ1棟分の建築部材が発掘されました。これにより、弥生時代の住生活や建築技術を知る大きな手掛かりが得られ、考古学上の貴重な発見がもたらされたのです。弥生のムラでは、発掘調査に基づいて高床建物をできるだけ忠実に復元しています。

実物の大きさや質感を感じてください

「弥生のムラって、何がすごいの？」と聞かれれば、「高床建物」と「安国寺式土器」の存在は欠かせません。この2つは弥生時代の研究において、特にすばらしい価値を持っています。

ぜひ弥生のムラで実物をご覧になり、その大きさや質感を感じてみてください。

国東市歴史体験学習館
学芸員(文化財課)

溝部 栄作

よみがえる 弥生びとの暮らし

安国寺集落遺跡の出土品によって、当時の弥生びとの暮らしが明らかになりました。

ここでは、弥生のムラの代表的な展示物である「高床建物」と「安国寺式土器」についてご紹介します。

口の部分が特徴的

この部分が「く」

安国寺式土器

口の部分の「波状の模様」と、「く」の字の形が特徴的な壺型の土器。種もみなどの保管に使われました。似た形状の土器が瀬戸内海沿岸地域で数多く見つかっていますが、最初に発見されたのが安国寺集落遺跡であるため、総じて「安国寺式土器」と呼ばれています。

安国寺式土器は、東九州地方の弥生時代後期から古墳時代前期を代表する土器様式です。また、出土した地域から、当時の人々の交流範囲をうかがうこともできます。

